

平成 22 年 5 月 14 日現在

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2007～2010

課題番号：19520297

研究課題名(和文) 日本現存朝鮮古刊本の調査とその語学的・書誌学的研究

研究課題名(英文) Survey of Korean Old Books in Japan

A Linguistic and Philological Study

研究代表者

藤本 幸夫 (FUJIMOTO YUKIO)

麗澤大学・大学院言語教育研究科・教授

研究者番号：70093458

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：文学 ・ 各国文学・文学論

キーワード：朝鮮本・文献学・中国本・和書・活字本・木版本・刻手

1. 研究計画の概要

(1)わが国には歴史的経緯もあって、多くの朝鮮本があり、我が国の文化に大きな影響を与えてきた。それらを全国から探し出し、語学的・文学的研究を加える。

(2)中国本で本国ではすでに失われ、朝鮮本として伝存するものがあり、また和書の底本となったものもあるので、それらを明らかにし、中・朝・日三国間の文化交流を闡明する。

(3)その結果を論文や著書の形で学界に提供する。

2. 研究の進捗状況

過去3年にわたり、天理大学・京都大学・東京大学・鶴見大学、書陵部・東洋文庫、足利学校、建仁寺両足院、大阪府立図書館等所蔵の朝鮮本、800部5000冊ほどの調査を終えた。また韓国ソウル大学にても補足的調査を実施した。すべてに文献学的検討を加え終わっている。

3. 現在までの達成度

予定通り計画は遂行し得ている。2006年4月に『日本現存朝鮮本研究 集部』(京都大学学術出版会)を刊行し、来年度には『日本現存朝鮮本研究 史部』の刊行予定にまで至っている。

4. 今後の研究の推進方策

今後は「子部・経部」、そして「図版」の刊行を予定しているが、そのためには未調査朝鮮本の継続調査が必要である。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者に

は下線)

〔雑誌論文〕(計 0 件)

〔学会発表〕(計 0 件)

〔招待講演〕(計 10 件)

(1)藤本幸夫「朝鮮の訓読を巡って」 国際シンポジウム 2007年9月9日 二松学舎大学

(2)藤本幸夫「韓国出版文化と日本」 第5回環日本海講演会 2007年10月20日 鳥取県立図書館

(3)藤本幸夫「朝鮮本の話」 朝鮮コロキアム 2007年11月7日 東京大学文学部

(4)藤本幸夫「韓国書誌学の諸問題」 韓国ソウル大学校奎章閣講演会 2007年12月7日 韓国ソウル大学校

(5)藤本幸夫「東アジアの出版文化」 富山大学人文学部講演会 2008年1月28日 富山大学人文学部

(6)藤本幸夫「日本出版文化と朝鮮」 韓国延世大学校大学院講演会 2008年2月18日 韓国延世大学校

(7)藤本幸夫「日本所在韓国古文献に対する調査とその書誌学的研究」 韓国成均館大学校翻訳大学院講演会 2008年4月18日 韓国成均館大学校

(8)藤本幸夫「朝鮮出版文化と日本」 COE講演会 2009年4月26日 仙台市博物館

(9)藤本幸夫「朝鮮本について」 国際仏教学大学院大学講演会 2009年5月29日 国際仏教学大学院大学

(10) 藤本幸夫「日本現存朝鮮本とその研究」 韓国東国大学校BK21事業講演会
2010年2月20日

〔図書〕(計 4 件)

(1) 『五山禅宗寺院に伝わる典籍の総合的な調査研究 建仁寺両足院所蔵本を中心に』(2008年 上下二段512頁 基盤研究(B)研究調査報告書 赤尾栄慶他14名)

(2) 『2002 - 2007/環日本海講演会記録集』(2010年 鳥取県立図書館 総175頁中、105 - 140頁)

(3) 『五山禅宗寺院に伝わる典籍の総合的な調査研究 建仁寺両足院所蔵本を中心に』(2010年 上下二段500頁 基盤研究(B)研究調査報告書 赤尾栄慶他14名)

(4) 『新アジア仏教史』(2010年8月 佼成出版社 138 - 141頁)

〔産業財産権〕

出願状況(計 0 件)

取得状況(計 0 件)

〔その他〕